

常磐毎日

発行所 常磐毎日新聞社
社址 水戸市東区新町二丁目21番地
電話 210-269
編集 常磐毎日新聞社
印刷 常磐毎日印刷局

一日に千二百トン選鉱 大選鉱場の建設に着手

整備進む 日鉄八菱

第二の釜石鉱山出現とまで期待を集めている四倉町五山八菱鉱山は三十九年計画で一日千二百トン選鉱可能な大選鉱場を建設することになり不況下に明るい話題を投げかけている。

日鉄八菱の八菱鉱山は、釜石市に所在する。この鉱山は、昭和二十九年に発見された。その当時は、選鉱設備が簡陋で、一日の選鉱量は僅かであった。しかし、戦後の復興需要に応じ、八菱は、この鉱山の生産能力を大幅に向上させるべく、大選鉱場の建設に着手した。

この大選鉱場の建設は、四倉町五山の山腹に建設される。建設費は、約十億円を要する。建設期間は、約三年と見込まれている。この大選鉱場の完成後、八菱の選鉱能力は、一日千二百トンに達する。これは、現在の選鉱能力の十倍以上である。

八菱は、この大選鉱場の建設に着手するに当たって、関係各機関と協議を重ねている。また、地元住民の理解と協力を得るべく、説明会を開催している。八菱は、この大選鉱場の建設が、地域の産業発展に大きく貢献することを期している。

街路22線を新設 勿来の都市計画決る

常磐聯合都市計画の中心をなす街路計画(勿来の街)は、水戸市都市計画課(市街)より、勿来の街に新設される街路22線の計画が、勿来の街の都市計画に決定した。

この街路22線は、勿来の街の中心部を縦断する。その幅員は、約十メートルと見込まれている。また、この街路22線は、勿来の街の主要な交通路となる。この街路22線の新設は、勿来の街の都市計画に大きく貢献する。また、この街路22線の新設は、勿来の街の景観を向上させることにもなる。勿来の街は、この街路22線の新設を歓迎している。

カとハエ追放に 平保健所の実施計画

カとハエの追放に、平保健所が実施計画を立てた。この計画は、カとハエの発生を抑制し、市民の健康を守ることを目的としている。

この実施計画には、カとハエの発生を抑制するための措置が盛り込まれている。例えば、排水設備の整備、ごみの分別収集、排水口の清掃などである。また、市民に対する啓発活動も実施される。平保健所は、市民の協力を得て、カとハエの追放に取り組む。

農民の生きる道 大村 哲也

農産物の価格下落が続く中、農民の生活はますます厳しくなっている。農民は、生きる道を探している。大村 哲也氏は、農民の生きる道について、鋭い指摘を行っている。

大村氏は、農産物の価格下落の原因として、生産過剰と輸出競争の激化を挙げている。また、農産物の価格下落は、農家の収入を減少させ、農家の生活に深刻な影響を及ぼしている。大村氏は、農産物の価格下落を抑制するためには、生産調整と輸出競争力の向上が必要であると述べている。

野菜の夜店 平市の晩から始る

平市の野菜の夜店が、八月五日から開始される。この夜店は、平市の野菜の産地を直接取り扱っており、新鮮な野菜を安く提供される。

この野菜の夜店は、平市の野菜の産地である。産地直営の野菜の夜店として、新鮮な野菜を安く提供される。また、産地直営ならではの野菜の知識も提供される。この野菜の夜店は、平市の野菜の産地を直接取り扱っており、新鮮な野菜を安く提供される。

綿引を全国手配 客を呼出しメツタ切り

綿引の全国手配に、客を呼出しメツタ切り。綿引の全国手配は、客を呼出しメツタ切り。綿引の全国手配は、客を呼出しメツタ切り。

教科書 展示会開く

教科書の展示会が開く。教科書の展示会が開く。教科書の展示会が開く。

映画館内で発見 三幸から盗まれた時計

映画館内で発見された時計。三幸から盗まれた時計。映画館内で発見された時計。

払出ダント増す 平局貯金にも不況響く

平局貯金の払出ダントが増す。平局貯金にも不況響く。平局貯金の払出ダントが増す。

関係者ら七日出展 種鶏分場の誘致陳情

関係者ら七日出展。種鶏分場の誘致陳情。関係者ら七日出展。

浜遊びのおみやげに 常磐果びかんの あさ川 謹製

勿来名産 勿来手製
小浜名産 小浜手製
いわき名産 手製

あさ川 謹製

有各商店にて販売しております

あさ川 製菓株式会社
水戸市大工町四小路 電話2561-2908
支店 平市南町 電話1414

栄養満点な 緑屋牛豚肉問屋

本館 平市一丁目 電話五三九
支店 平市中区 電話七九四

山崎時計店

計器 筆輪
時眼 万指ラジ
御礼の心を
こめた贈物

山崎時計店
平市中区 電話九一九

丸平商店

皮膚科 矢吹医院
性病科

丸平商店
平市中区 電話三三三

スズキ

看護婦家政婦
の御用命は電話三〇七番へ

労働大臣認可 平家婦科 幹旋所
開設後二十一年 経験豊富な家政婦

藤越

トマトは野菜
かくだモノカ

藤越

